

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをするとき生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- 絵表示の例
- 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近例に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 - 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります
- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります

注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります
- 浴室内など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
 - ・大工工事【設置のための下地工事等】
 - ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
 - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
 - ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気性能をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用座付ねじは 45mm の長さのものが同梱されており、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を取り付けてください。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。
なお、レンジフード取付高は、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。
湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋中央で調理される場合は、油煙が捕集できませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm³ 程度の空気取入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
- ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：勾配 1/100～1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。
塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

取り付け前の調査と準備

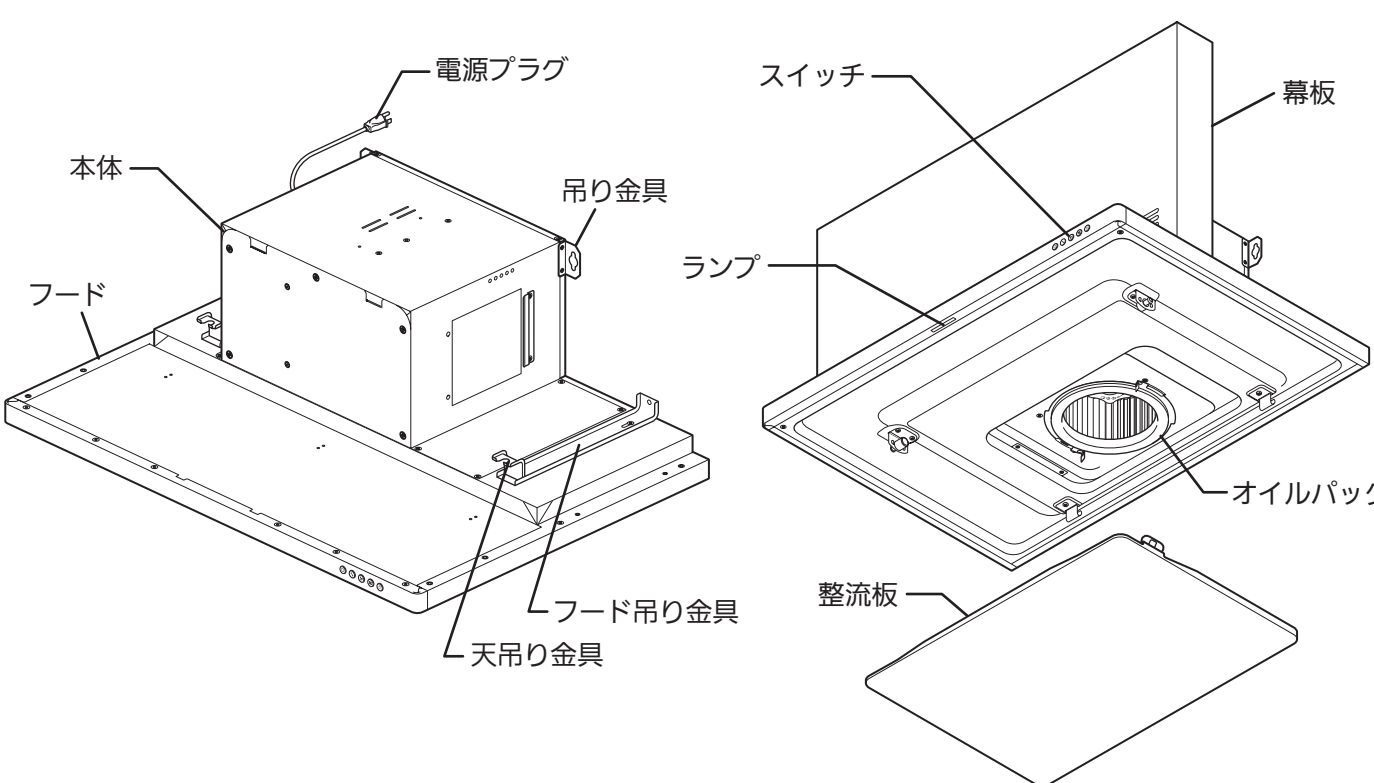
警告

- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

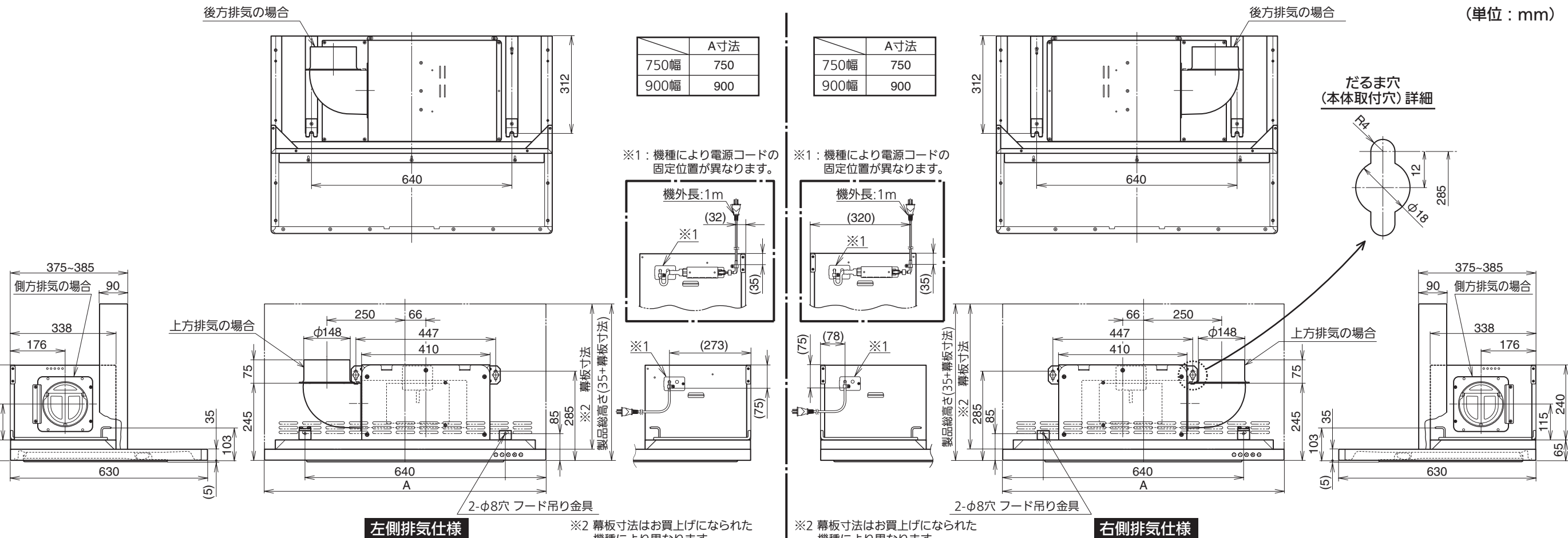
注意

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 取付面の強度確認
製品を支える強さが必要です。
- 製品単体質量
- 板張り（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）
 - 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。
 - 板厚が 20mm 以上の場合には補強板の必要はありません。
- コンクリート、タイル壁の場合
 - あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
- 土壁の場合
 - 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

各部のなまえ



製品寸法図



付属品

- 座付ねじ (φ 5.1 × 45) 4 本
本体の取り付けに使用します。
- トラスねじ (M4 × 6) 3 本
鋼板の固定に使用します。
- 段付ねじ (M4 × 12) 4 本
排気口と L 形ダクトの取り付けに使用します。
- L 形ダクト 1 個
上方・後方排気のとときに排気口と組み合わせて使います。
- 排気口 1 個
本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。
- ソフトテープ 1 本
排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。
- 鋼板 1 個
本体正面の目隠しに使用します。

取り付けかた

1. 付属品の確認

注意

- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- 付属品を確認します。
梱包箱から付属品を取り出し、上項中央の付属品一覧により不足がないか確認します。
- お願い
 - ・取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
 - ・保護用のクッション材と固定テープは「7. 取扱説明書およびオイルパック固定テープ」の取りはずしまではずさないでください。
 - ・床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

2. 本体の準備

- 事前に取り付けた吊りボルトにフランチ付き六角ナットを取り付けます。（図 2-1）
吊りボルト上側のフランチ付き六角ナットの位置（天吊り金具取付位置）は製品寸法図を参考にあらかじめセットしておくことで作業が容易になります。
- ※ 吊りボルトとフランチ付き六角ナットは取付作業側で手配願います。

3. 排気方向の決定

警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

注意

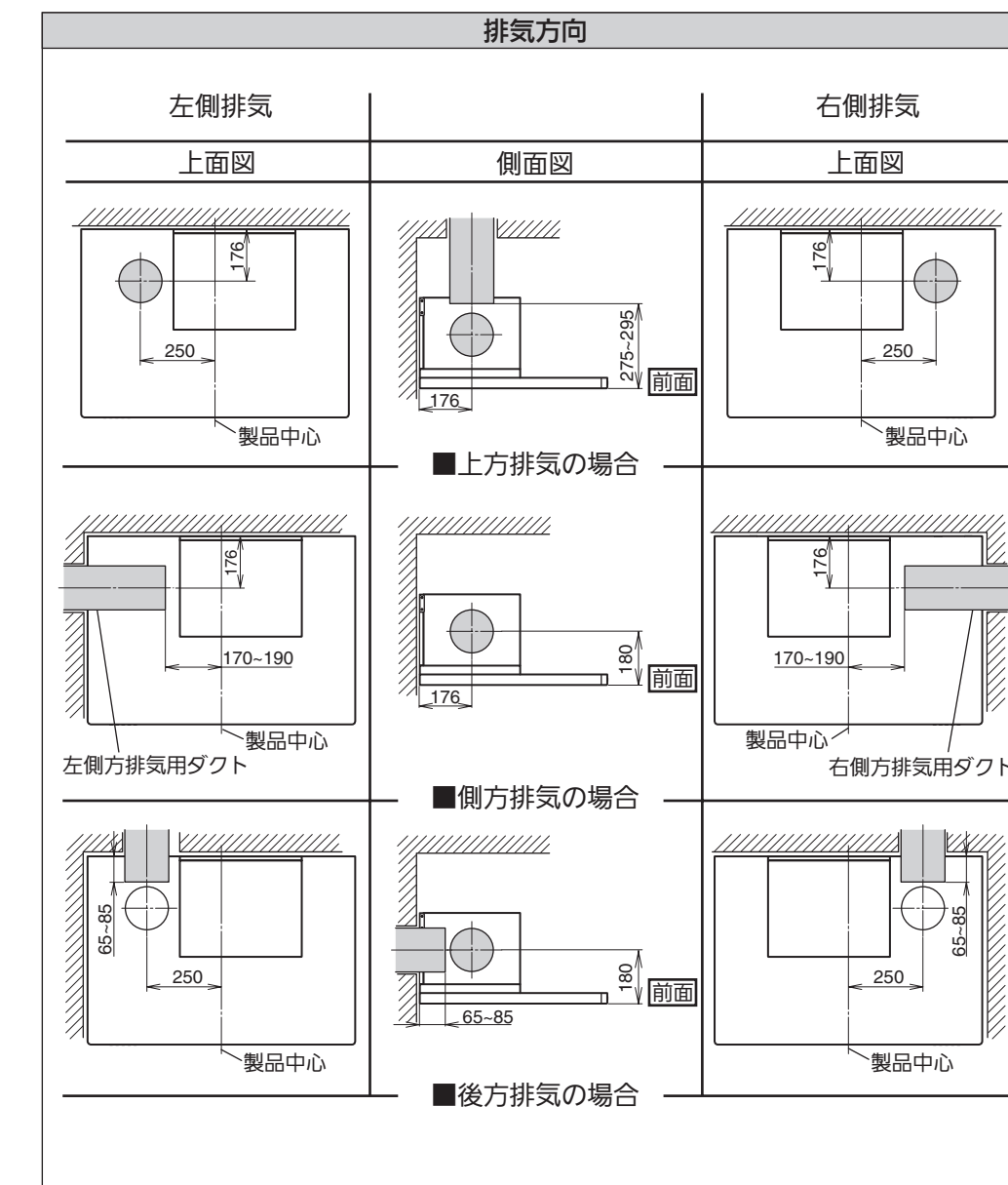
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります

- 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開きを依頼してください。（ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。）
また、コンセントの位置を確認してください。

本製品はダクトの排気方向を左側・右側排気それぞれ 3 方向の中から選べます。（図 3-1）

製品には右側排気用・左側排気用の 2 種類があります。
本説明書は右側排気用の図で説明しています。左側排気用の場合は排気口の位置が逆にありますが、取付方法は同じです。

- φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトをレンジフードの上部に突き出すようにセットして周囲を仕上げてください。（コンクリート、タイル、土壁の場合）



4. 排気用部品の準備

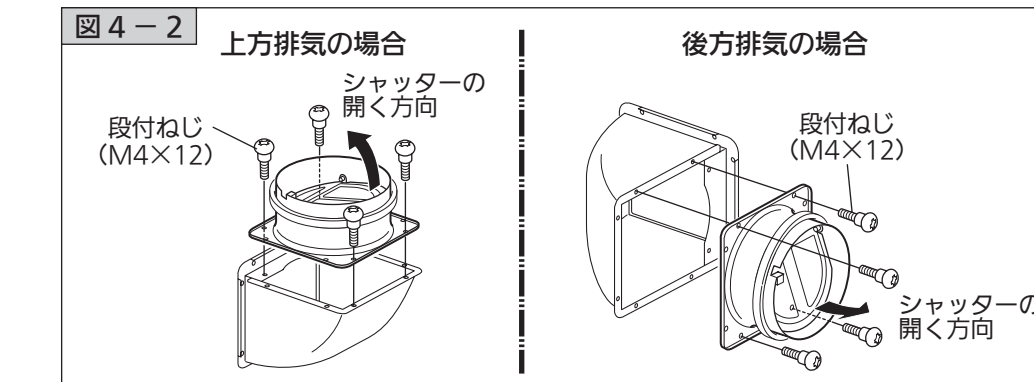
以下は右側排気の場合を示します。左側排気の場合は左右対称として見てください。

- 排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。（図 4-1）

排気口と L 形ダクトの接続

- 上方排気・後方排気の場合（図 4-2）
排気口を付属品の段付ねじ（M4 × 12）4 本で L 形ダクトに取り付けます。

お願い
排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。誤った取り付けの場合、排気不良や異音の原因になります。

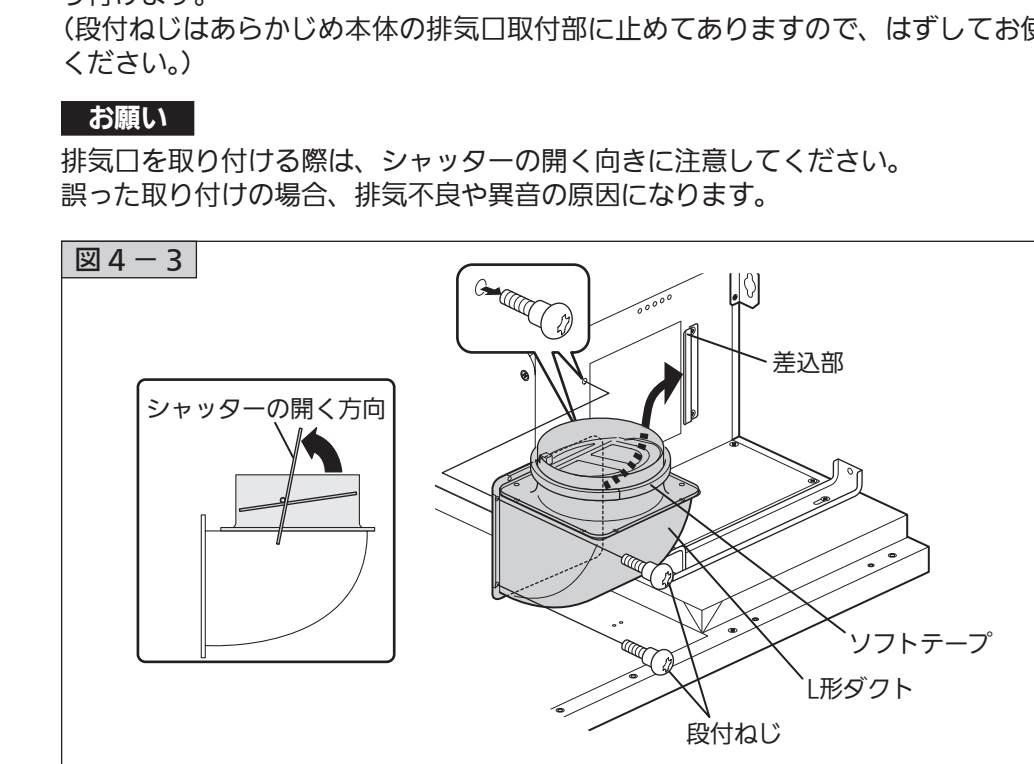


- 側方排気の場合
L 形ダクトは使用しません。排気口のみ準備してください。

排気口と本体の接続

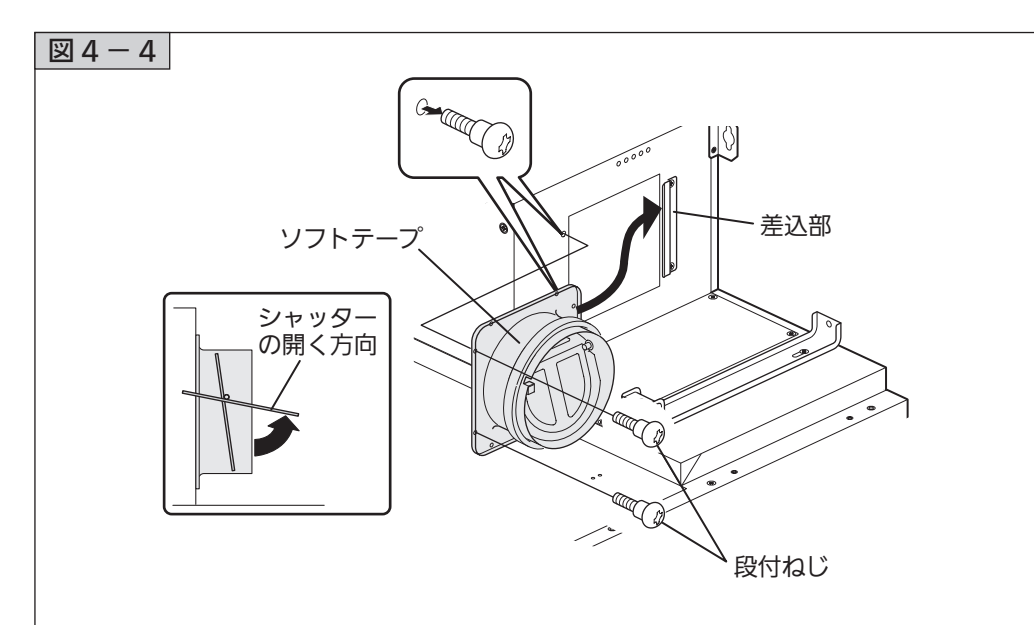
- 後方排気の場合
排気口と本体の接続は、「6. ダクトと排気用部品の接続」（裏面（図 6-3））でおこないます。
- 上方排気の場合（図 4-3）
排気口を取り付けた L 形ダクトを本体側面の差込部に差し込み、段付ねじ 2 本で取り付けます。（段付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますので、はずしてお使いください。）

お願い
排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。誤った取り付けの場合、排気不良や異音の原因になります。



- 側方排気の場合（図 4-4）
排気口を本体側面の差込部に差し込み、段付ねじ 2 本で取り付けます。（段付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますので、はずしてお使いください。）

お願い
排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。誤った取り付けの場合、排気不良や異音の原因になります。



5. 本体の取り付け

注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

- だるま穴用座付ねじをねじ込みます。（図 5-1）
製品寸法図を参照し、吊り金具（本体左右 2 ヶ所）のだるま穴位置（左右各 1 ヶ所）に、付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）を壁面とのすきま 5 mm まで締め付けます。

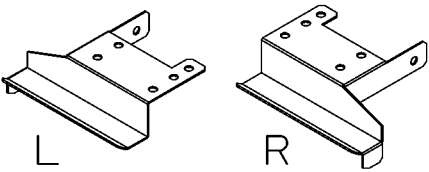

取り付けかたは裏面に続きます。

[製造元] **-FUJIOR-** 富士工業株式会社
 本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号
 TEL 042(768)3754 (営業部)

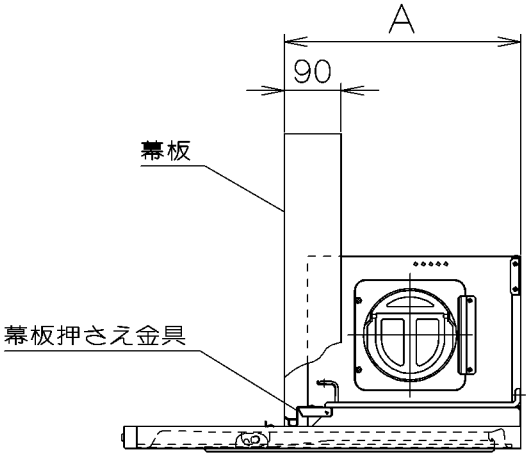
取付補足説明書

この取付書は、幕板取付用の補足説明書です。
この取付補足説明書とレンジフードの取付説明書を併せてお読みください。

1. 付属品確認
取付説明書に記載されている付属品の他に、次の部品が付属となります。

付 属 品		幕板押さえ金具 R/L 各1個 フードに固定します。
		トラスねじ (M4×6) 4本 幕板押さえ金具の固定に使います。

2. 幕板の取り付け位置を確認し、幕板押さえ金具の取り付け位置を決定します。
※幕板の位置により、幕板押さえ金具のねじ固定位置が変わります。



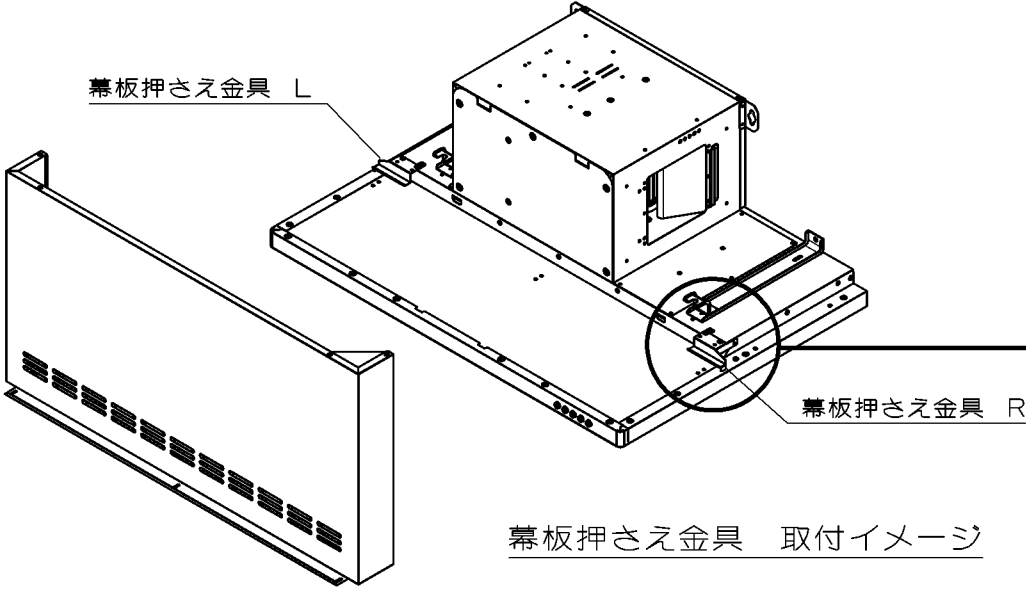
幕板

幕板押さえ金具

A = 360以上、374未満の場合
➡ 取付図①を参照

A = 374以上、384未満の場合
➡ 取付図②を参照

A = 384以上、387未満の場合
➡ 取付図③を参照



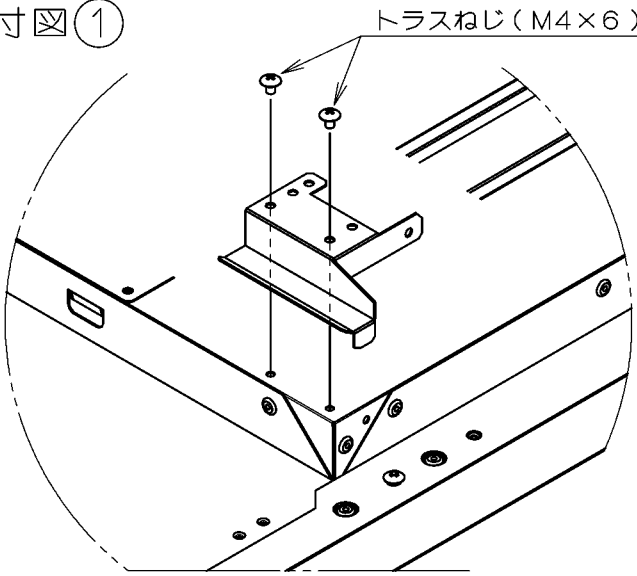
幕板押さえ金具 L

幕板押さえ金具 R

幕板押さえ金具 取付イメージ

3. 幕板押さえ金具を取り付けます。（図はR側を示し、L側は対称となります。）

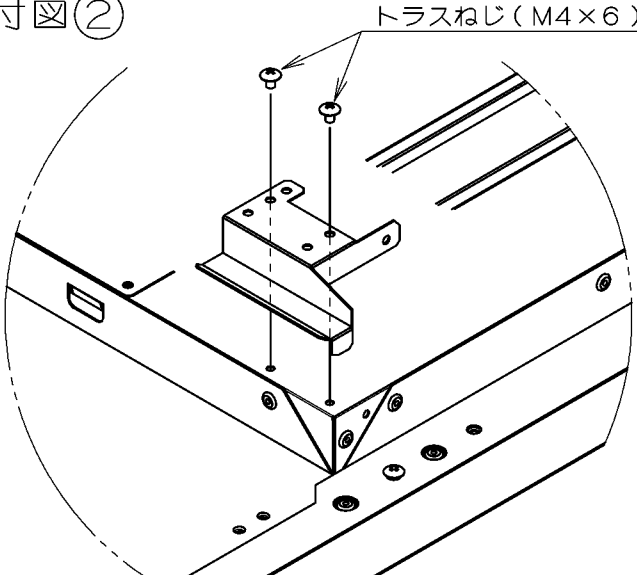
取付図①



トラスねじ (M4×6)

上面手前のねじ穴を使用し
ねじ2本で固定します。

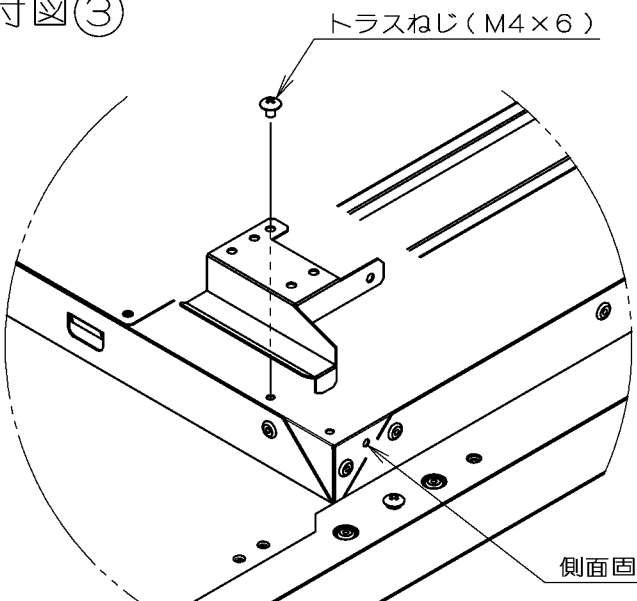
取付図②



トラスねじ (M4×6)

上面手前から2列目のねじ穴を使用し
ねじ2本で固定します。

取付図③



トラスねじ (M4×6)

上面奥のねじ穴と側面のねじ穴を使用し
ねじ2本で固定します。

【お願い】
幕板押さえ金具は、レンジフードを壁面に
固定する前に取り付けて下さい。
（設置後の側面のねじ固定が難しい為）

側面固定穴

トラスねじ (M4×6)